

家畜衛生だより



平成29年12月第20号(牛)
東部・北部家畜防疫獣医師会
(公社)千葉県畜産協会
東部家畜保健衛生所
TEL: 0475(52)4101
FAX: 0475(52)3335
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kh-toubu/>

年末年始及び春節は人・物の移動が盛んになります。
口蹄疫の発生予防を徹底しましょう！

年末年始及び春節(平成30年2月16日)の時期は海外から人・物の移動が盛んになることに加え、来年2月には韓国でオリンピック・パラリンピックが開催され、日本から海外渡航者が増加します。

そのため、国内への口蹄疫ウイルスの侵入リスクが高くなることから、以下のとおり対策を徹底しましょう！

★農場の従業員も含めた畜産関係者に対し、口蹄疫の発生国への渡航を可能な限り自粛しましょう！

※万が一発生国へ渡航する場合は、以下の点に注意願います。


(1) 渡航に当たっての注意

- ・ 農場やと畜場など畜産施設に立ち入らないこと。
- ・ 肉製品等を日本へ持ち帰らないこと。
- ・ 帰国の際には、到着した最寄りの動物検疫所カウンターへ立ち寄り、家畜防疫官の指導を受けること。



(2) 帰国後の注意

- ・ 帰国後一週間、必要がある場合を除き農場に立ち入らないこと。
- ・ 海外で使用した衣服及び靴を農場に持ち込まないこと。





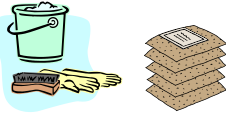

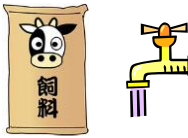

 農場への立入制限及び立入りの際の消毒について

- ・ 農場及び畜舎に必要な者が立ち入らないよう、立入禁止看板を設けること。
- ・ 農場及び畜舎に立ち入る際、手指、靴等の消毒を行うこと。

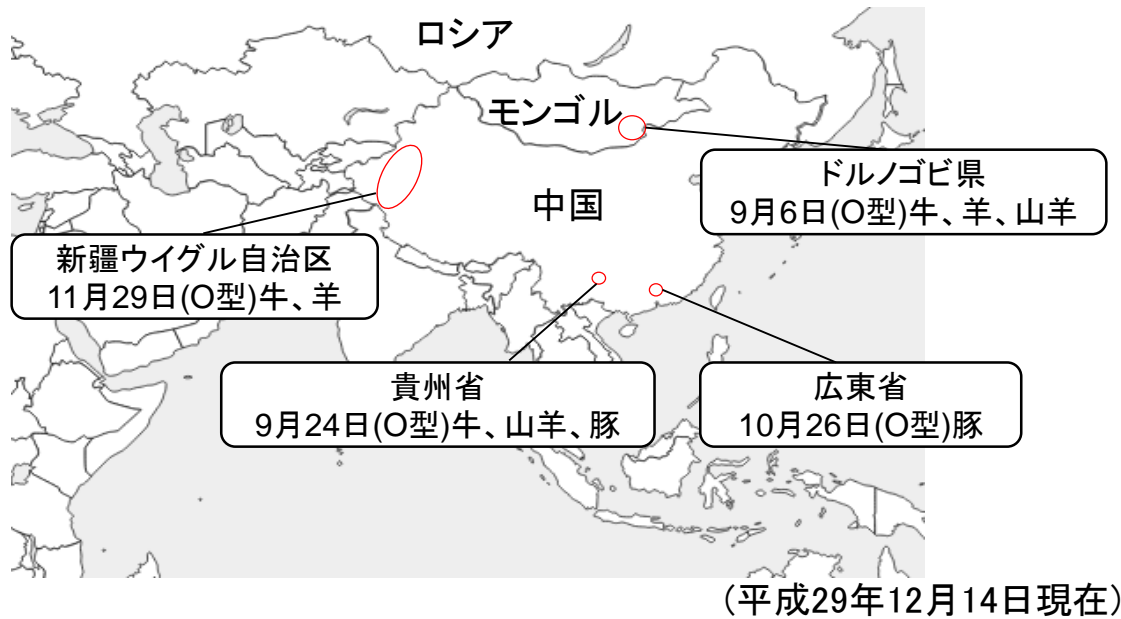


東部家畜保健衛生所 Tel.0475-52-4101 Fax.0475-52-3335
※夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください

【下記の衛生管理も再徹底しましょう！】

 <p>農場に出入りする車両と運転者の手指や運転席を消毒する。</p>	 <p>農場に入る方は専用の衣服・長靴を着用する。</p>	 <p>新たに牛を導入する際、隔離牛舎で健康観察を行う。</p>	 <p>台帳やカレンダーを用意し、農場立入者の記録を残す。</p>
 <p>牛舎の入口に踏込み消毒槽を設置し、農場入口に消石灰を散布する。</p>	 <p>死亡牛を処理するまでの間、野生動物に荒らされないよう隔離する。</p>	 <p>飼料や水に野生動物のフンが混入しないよう、適切に保管する。</p>	 <p>と畜場など畜産施設に出入りする際、消毒を徹底する。</p>

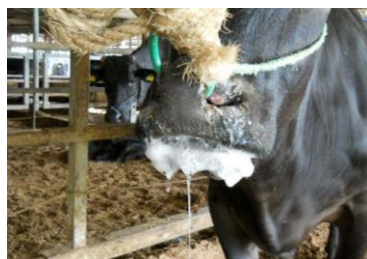
【日本の近隣諸国における口蹄疫の発生状況（平成29年9月以降）】



【口蹄疫特有の疑わしい症状は直ちに通報を！】

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後によだれを流したり、口、蹄、乳房に水ぶくれができるのが主な特徴です。

毎日必ず健康観察し、口蹄疫特有の症状を確認次第、直ちに家畜保健衛生所に連絡しましょう。



流涎(よだれ)



舌のびらん



乳頭の水疱(水ぶくれ)

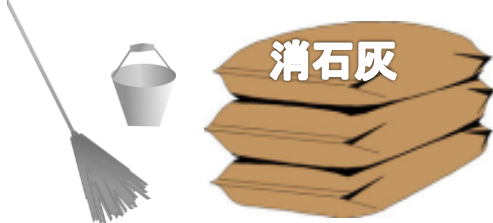
【参考】農林水産省ホームページ

1月4日は『一斉消毒の日』です!

千葉県では、月1回「一斉消毒の日」を設定し、口蹄疫・高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)の侵入防止と地域全体の防疫意識向上を目指しています。

1月4日には次の項目を実践して☑チェックを付けてみてください!!

農場入口に消石灰を散布



- ・消石灰が固まってしまったら、新しいものを散布しましょう。
- ・雨が降った次の日には散布しなおしましょう!

チェック欄

農場内立入者は衣服交換を実施!



チェック欄

衛生管理区域へ立入る人は、専用の衣服を着用しましょう。

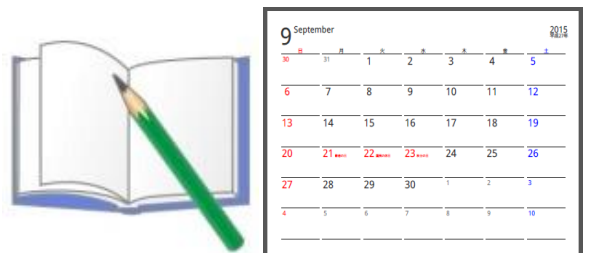
踏み消毒槽の薬液を交換!



汚れたり、時間がたったら薬液を交換して、消毒効果のある状態を保ちましょう!

チェック欄

来場者の記帳を確認!



台帳やカレンダーを用意して、農場に立ち入りした人の記録を残しましょう。

チェック欄

畜舎周囲の整理・清掃をしましょう



畜舎まわりの雑草を刈り、不要品を片付けて、野生動物の侵入を防ぎましょう。

チェック欄

毎月1日は一斉消毒の日
このイラストを使って、
確認してみましょう。



東部家畜保健衛生所
TEL:0475-52-4101
FAX:0475-52-3335